

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○グループを作って互いに話をしたり聞いたりする活動をすすんで行うことができる。 ○新出漢字に興味があり、漢字の練習をよく行うことができる。 ○文章は、テーマにそって自分で大体書き始められ、段落をつけて文章を構成することができる。 ○登場人物の気持ちや場面の様子を、ワークシートに書いたり考えたりすることができる。 △丁寧に漢字を練習する意識は個人差が大きく、漢字交じりの文が書けないなど定着に差がある。 △文章を書く時に、中心がはっきりせず、内容も希薄なことが多い。 △文の句読点を付け忘れたり、誤字脱字があったりすることが多い。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつかったり段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考えること[思考] ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること[表現] ・間違いを正したり、相手や目的意識のある表現を確かめたりして、文や文章を整えること 	
<p>【授 業 改 善 策】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書きたい事柄を図式化したり表にまとめたりし、物事の関係性を整理して中心となることをはっきりさせる。 ・文と文をつなげる言葉や、理由や事例を示す言葉などを用い、読みやすい文章を書くようにする。 ・書いたことを読み返す、互いに読み合って助言し合う等して推敲を行い、より整った文章にする。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： れいをあげてせつめいしよう～食べ物のみみつ教えます～ 指導時間： 8 時間 指導時期： 1 1 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような形で文章を書くかを決める。(新聞、小冊子、リーフレット) ・調べたい材料を選び、食品の例を集める。 ・本で調べたり人に聞いたりして、メモを取る。 ・図や表で言葉や文を整理し、物事関係を確かめる。 ・「はじめ」「中」「終わり」に分けて、文章の組み立てを考える。 ・「中」であげる事例の順序やつながり方を、接続語などを用いて工夫し、内容を分かりやすくする。 ・組み立てを基に、説明する文章の下書きをする。 ・誤字脱字、表現の過不足などを推敲し、文字を整えて文章を書く。 ・互いに読み合い、説明の工夫について交流する。

令和元年度 3 学年 算数科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○興味をもって意欲的に学習しようとする。 ○かけ算を正確に解くことができる児童が多い。 ○あまりのあるわり算では、かけ算を使って商を立てることができている。 △長さの単位では、$100\text{cm}=1\text{m}$、$1000\text{m}=1\text{km}$が定着していない児童が見られる。 △時計では、何分後と聞かれて、つまずく児童が見られる。 △自力で立式することはできるものの、思考場面ではどのように考えたら良いのかつまずく様子が見られる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・量や単位についての理解を深める。 ・数学的な見方、考え方で、式、表、言葉を使いながら説明ができる。 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な活動を置く取り入れ、日常生活と結びつけた活動を行い、定着を促す。 ・文章で分かっていること、聞かれていることに下線を引かせ、何について考えなくてはいけないかを整理し、色々な思考ツールを使いながら考えを書かせる。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：まるい形を調べよう 指導時間：8 時間 指導時期：12 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパスを用いて描かれた模様を見てどのように描いたのか推論し、円の中心をどこにしたのかを考えさせる。そのため、実際にコンパスで針を刺して試行錯誤させる。また、弧を延長すると円ができ、その中心にコンパスの針を刺すとよいことに気付かせる。 ・身の回りにある課題を算数を用いて解決する視点を育てるため、箱に入ったボールを元に、箱の縦や横の長さを求める場面を設ける。

令和元年度 3 学年 理科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○理科の授業についてとても興味・関心が高い。</p> <p>○教師が発問したとき、ほとんどの児童が挙手することがある。全体的に発表に意欲的である。</p> <p>○風とゴムの実験では、私語もなく、集中して実験することができた。</p> <p>○実験前も、実験後の片付けなども主体的に行う姿が見られる。</p> <p>○植物の水やりや草むしりなどもきちんとしていくことができた。</p> <p>△理科の問題解決型の学習を始めたばかりであり、問題解決の流れにまだ慣れていない状況である。</p> <p>△1 学期は 1 単元の実験だったため、自分の考えをもつことや、考察について記述したり説明したりすることが十分に定着していない。</p>	
<p>↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、磁石の性質についての問題を見出し、表現するなどして問題を解決すること。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<p>・何かを比較する際も、何を比較するのか明確にする。</p> <p>・グループでの交流を増やして、友達に説明したり、話すことで考えを整理したりすることで、ワークシートに記述できるようにする。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：じしゃくのふしぎをしらべよう</p> <p>指導時間： 8 時間 指導時期： 2 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・予想させる場合は、既習事項や生活経験を基にして、根拠のある考えを書くようにさせる。また、どのようなものが磁石を引きつけるか、引きつけないと思うかなど、物質の素材に注目させて具体的に予想させるようにする。さらに、生活の場面で身近にある磁石を使った製品に着目させ、どのようなものが磁石を引きつけるか考えさせるようにする。</p> <p>・交流するときは、友達の意見との差異点や共通点は何か、意識しながら話を聞くように子供たちに声掛けをする。</p> <p>・個人で考えた後、グループ、学級全体と考えを伝え合う活動を通して、問題に正対した考えをもち、表現することができるようにする。グループの交流では、グループで 1 枚のホワイトボードに考えをまとめるなどの活動を通して、お互いの考えを伝え合ったり、自分の考えを話すことで自分の考えを整理したりすることができるようにする。</p>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○身近な地域に関心があり、学校の周り探検ではよく見たり探したりして懸命にメモをとっている。 ○地図記号や建物の名称などを自分で確かめるために、地図により興味をもって探している。 △知っている場所でも距離感覚や方角、位置関係が身に付いていない児童が多い。 △地域のことを観察、調査した後、社会的事象の意味や他の事象とのかかわりを思考・判断することが少ない。 △資料を活用して、調べたことを地図や新聞に分かりやすくまとめるなどの能力に差がある。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における社会的事象から、その特色や自分たちの生活への関連について考え、判断し、表現すること ・調べたことや資料を基に、情報を整理・選択して、文章や図でまとめること 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの暮らしの中でどんなものが生産されているかを、身近な人に聞いたり自分の生活を観察したりして調べるとともに、観点に沿って地域の食品工場見学の計画を立てる。 ・調べたことの記録と、地図やパンフレットなど資料を使って、新聞をつくる。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： 働く人とわたしたちの暮らし～工場で働く人と仕事～ 指導時間： 10 時間 指導時期： 10 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中で生産されているものや種類を調べる。 ・ハム工場での生産、流通、施設、働き方、など見学で聞いたり調べたりしたいことを話し合う。 ・見学のグループをつくり、調べたいことについての予想を立てる。 ・見学し、メモを取ったり質問や感想を出したりする。 ・見学して分かったことや気付いたことを発表し合う。 ・調べたことをもとに地図や写真などの資料も利用しながら、まとめ方を考える。

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○身体を良く動かし意欲的に学習をしている児童が多い。 △勝ち負けの意識が強く友人の間でトラブルになることが多い。 △基本的な動きや技能の習得に個人差がある。</p>	
<p>【課 題】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動技能の習得に差があり、苦手な運動に自信がもてず、活動に消極的になる。 ・解放的になってしまい、約束事やルールを守れないことがある。 ・友達と折り合いが付けられず、トラブルになってしまう。 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>具体的な 【改善策】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚づくりの運動を十分に取り入れ、動きの感覚をつかめるようにする。 ・動きを段階に分け、自分の技能に合った場で、動きを習得できる場の設定を行う。 ・全員が楽しむためにはどのようにゲームのルールを工夫したらいいか考えさせ、児童に試合のルールを工夫させ、ゲームを楽しめるようにする。 ・活動の前に「きまり」を守ることを指導し、誰もが仲良く活動に取り組めるようにする。その中で、仲良く運動する楽しさを感じられるようにする。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： ペットゴール 指導時間： 10 時間 指導時期： 9 月頃</p>
	<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びに触れることと、基本的な動きや技能 ・自己の運動における課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫する力 ・きまりを守り、誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする力
	<p>単元における 【具体策】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールで工夫できるところはないか、ふりかえりの時間の中で考えさせ、全員が進んでゲームに取り組めるようにする。 ・試合の前と間にチームタイムを設定し、ゲームの中で感じた課題をどのように解決していくか考えさせ、ゲームの型に合った作戦を選ぶことができるようにする。 ・ゲームのルールや勝敗を、掲示物として掲示し、視覚的にきまりやルールを分かりやすいようにし、全員がきまりやルールを理解し、活動に取り組めるようにする。また、試合の挨拶の際には、礼と握手を徹底させる。

令和元年度 3 学年 図画工作科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○図画工作の時間が好きで、意欲的に取り組む児童が多い。 ○好きな色を選び、自分の思いや考えを発想豊かに表現できる児童が多い。 ○友達作品に興味をもって鑑賞できる。 △人や動物、植物など、具体的な形を描いたり、作ったりすることに苦手意識があり、なかなか取り組もうとしない児童が少数いる。 △何の色と何の色を混ぜると何色になるかはまだ十分に理解できていない児童が多い。 △道具の扱いや片づけが丁寧にできない場合がある。 △自由な発想で作品を作ることが苦手な児童がいる。</p>	
<p>【課 題】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見つけること ・材料や道具を適切に扱うこと 	
<p>【授業改善策】</p>	<p>具体的な 【改善策】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木工作で、様々な形に切った木材を見せ、どのような形に見えるのか、木片どうしをつなぎ合わせるとどうなるのか、そこからイメージを膨らませる。 ・教科書の写真や動画、ゲストティーチャーを招いて、道具の扱い方を指導する。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： のこぎりひいて、ザク、ザク、ザク 指導時間： 4 時間 指導時期： 10 月頃</p>
	<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感覚や思いを基に、自分らしく技能を働かせる。 ・手などを十分に働かせて用具を用い、材料や用具を適切に扱う。
	<p>単元における 【具体策】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの角度や押さえる手の位置などポイントを押さえて、教員が実演する。 ・友達と見合っポイントを確認しながらのこぎりを使ってみる。 ・片づける場所を確認し、道具や材料を入れるものを用意する。 ・子供たちが図工室に入ってくる前に、建具店や木材店、製材所から集めたさまざまな木材・木切れを図工室の中央に集めて置き、素材との出会いを演出する。 ・木を切っていくと、木材独特のよい香りがする。木の種類によっても硬さが異なる。そういった気付きも大切にする。

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○新しく始まったリコーダー学習に意欲的に取り組んでいる。 △指で穴を完全にふさぐこととタンギングが課題である。 ○声がきれいになってきている。 △一部、音程が不安定な児童がいる。 △声量はまだ十分に使えていないので、響かせて声を一つにまとめていくことが課題である。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律や音が重なり合う面白さに関心をもち、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて演奏する。 ・旋律の重なりや強弱の変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く。 ・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむ。 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの指使い、タンギングの基本の定着を図り、楽曲に取り組んで達成感を味わわせる。 ・美しい声作り（頭声発声）のために、簡単な発声練習を取り入れ、正しい音程で全身を使って響かせる事を意識して練習をする。 ・独唱やアカペラの指導を取り入れ、より良い響きをつくるようにする。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： 音を合わせて楽しもう 指導時間： 7 時間 指導時期： 2～3 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの指使い、タンギングの基本の定着を図り、学習曲に取り組んで達成感をもたせる。 ・美しい声作り（頭声的発声）のために簡単な発声練習を取り入れ、響きを合わせることを意識させる練習をする。 ・独唱やアカペラ指導を取り入れ、よりよい響きをつくるようにする。